



# YMCA 大阪青年

## 12

2020年12月1日発行  
1916年5月1日創刊  
発行 / 小川 健一郎  
編集 / 大阪 YMCA 広報室  
〒550-0001  
大阪市西区土佐堀 1-5-6  
Tel 06-6441-0894  
Fax 06-6445-0297  
URL: <http://www.osakaymca.or.jp>



「見よ、兄弟が共に座っている。  
なんという恵み、なんという喜び。」詩編133編1節

1986年、ミネソタ州の片田舎に滞在していた私は、教会の聖歌隊に所属していました。クリスマスの晩のことです。教会では、礼拝に参加できない方々に讃美歌を届けるため、キャロリング行いました。北海道と同じ緯度にあるミネソタは、小説『大草原の小さな家』の舞台となった平坦な土地で、隣家まで数kmなんてことはざらにあります。数軒を訪問し、最後の訪問先を回ろうとした時、天候が急変し猛烈で横殴りの雪が降り始めました。ブリザードです。数分あたりは真っ白になり、前方の車のテールライトがかるうじて見えるぐらいです。外気温はマイナス20度を下回り毎年路上遭難が起こる土地なので、車を停止させるわけにはいきません。暴風に晒され歩く位の速度で、ノロノロと進むだけです。結局、不安を抱え数kmの距離を1時間以上かけてようやく辿り着いた私たちを、老夫婦が

歓迎してくれました。携帯もネットも普及していない時代です。彼らもまた、外の様子を眺めながら、私たちが必ず来ると信じて紅茶を湧かして待っていてくれました。必ず辿り着くという思いと、必ず来てくれるという思いが出会うことは、困難を一瞬で忘れさせてくれる喜びに満ちています。

詩編133編は、「兄弟(新共同訳)」と記されていますが、文語訳には「同胞」、英訳には“God’s People”(NIV)と訳されているように、共に生きる仲間が再会を喜び合う歌です。そして、この歌は巡礼歌でもありました。祭の時に、方々から都に集まろうとするユダヤの民が厳しい旅の道すがら口ずさんだ歌です。その歌声は、都に近づき、巡礼者が加わる度に、少しずつ大きく増えていきました。故郷をめざし、旅をしていたマリアとヨセフもまた、互いを励ましこの歌を口ずさんだのではない

でしょうか。そして時が満ち、出産に劣悪な環境しか与えられなかった中、彼らは羊飼いや異国の学者の祝福を受けます。それは困難な旅を乗り越えて、御子の誕生を祝い、喜びを分かち合う友の交わりでした。私たちはコロナ禍で日常が制限される一年を過ごしました。そのような中であって、救い主の誕生を祝うと共に、「兄弟(友)が共に座っている」そのことを心から喜び合えるクリスマスを迎えたいものです。



清教学園高等学校  
宗教主事  
(元東京YMCA野尻中高  
キャンプチャブレン)

と い なおひこ  
土井 直彦

### ■大阪YMCAの使命

大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。

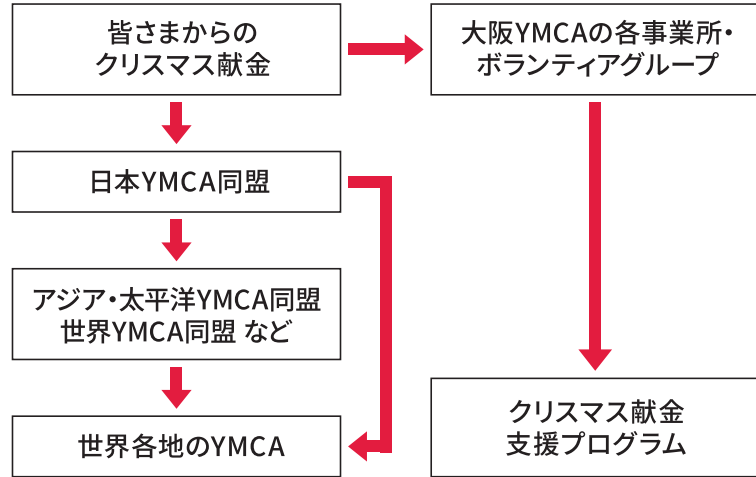
- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。

- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭・地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人のびとと力を合わせ、環境・人権・貧困の課題に取り組み平和で公正な世界をめざします。



# 大阪YMCA クリスマス献金のお願い

大阪YMCAではクリスマスを迎えるこの時期に、毎年クリスマス献金活動をおこなっています。皆様からお寄せいただいたクリスマス献金は、大阪YMCAの各事業所をはじめ日本YMCA同盟や世界中の関係YMCAと協力し、ボランティアと共に主体的に企画・実施・援助するプログラムや活動のために大切に用いさせていただきます。



- **国際協力募金**  
日本YMCA同盟を通して、世界各地のYMCAが取り組んでいる自然災害や紛争、貧困課題の解決に用います。
- **国際協力活動支援金**  
大阪YMCAと海外YMCAとの国際交流を通して、青少年のグローバルなつながりを育むための活動に用います。
- **国際奨学支援金**  
大阪YMCAの学校に在籍している留学生をはじめとする外国人学生の学業達成のための奨学金として用います。
- **青少年育成活動支援金**  
YMCAのプログラムに参加する青少年への支援、ユースボランティアリーダーが社会課題に対応する力を育むための活動に用います。
- **個別支援プログラム支援金**  
大阪YMCAの各事業所が、それぞれの地域課題解決のためにボランティアとともに企画、実施するプログラムへの支援金として用います。  
(主に子ども、子育て、高齢者のための地域プログラムの支援に充てられます。以下に一部を紹介いたします。)

## — 2020年度に実施したクリスマス献金個別支援プログラム紹介 —

### 1 世代間交流カフェプロジェクト ～高校生が新しいコミュニティをつくる～

世代間交流プロジェクト運営委員 **なかむら しげたか**  
**中村 茂高**

高校生とシニアをつなぐ「世代間交流カフェ」を、9月19日(土)、大阪府立東淀川高等学校の生徒36人と、YMCA関係のシニア16人が参加し、オンラインで実施しました。午前11時、高校生たちの主導で、生徒とシニアが12の小グループで話し合い、その後、全体でビンゴゲームをするなど1時間余り交流しました。当初、対面で高校生が企画するカフェにシニアが参加する予定でしたが、コロナ禍、急きょオンラインに変更。高校生とシニアの新たな交流の場が生まれ、高校生たちによる新しいコミュニティづくりの可能性が広がりました。この企画に大阪芸術大学放送研究会が交流の様子をカメラで追い、映像面で広報・記録を担ってくれ、今後のYMCAの広報のあり方に大きな示唆を与えてくれました。この後、大阪府立茨木西高等学校など4校とのカフェが予定されており、高校生総勢100人とシニア総勢50人が交流する機会となっています。運営委員会は箕面学園高等学校、YMCA学院高等学校とこれまでの世代間交流参加者OBによって組織されています。



### 2 健康に不安をかかえる子どもを持つ 保護者と生徒のつどい

YMCA学院高等学校 スタッフ **よこやま いっこ**  
**横山 伊津子**

「先生の「孤立しない」という話が印象に残りました。」  
「みんな同じ気持ちだとわかって安心しました。」  
YMCA学院高等学校では、起立性調節障がい等の体調面で学校の通学や生活に対して不安がある生徒が数多く在籍しています。そんな不安が少しでも解消できるよう、健康に関する学びの場や、ネットワークづくりを進めています。10月17日(土)に開催された本つどいでは、関西医科大学医療センター小児科医の柳本嘉時先生をお招きし、「小児・思春期の心身症と対応～起立性調節障がいを中心に」と題しての講演、当事者親子へのインタビュー、その後、生徒・保護者に分かれ、わかち合いの時をもちました。引き続き、一人でも多くの生徒・保護者が安心して学び、生きていくことができるよう、支援していきます。



皆様の温かいご支援とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

# コロナ禍での世界のYMCAの動き

グローバル事業推進室 室長 **ドミニク・パングラッシオ**

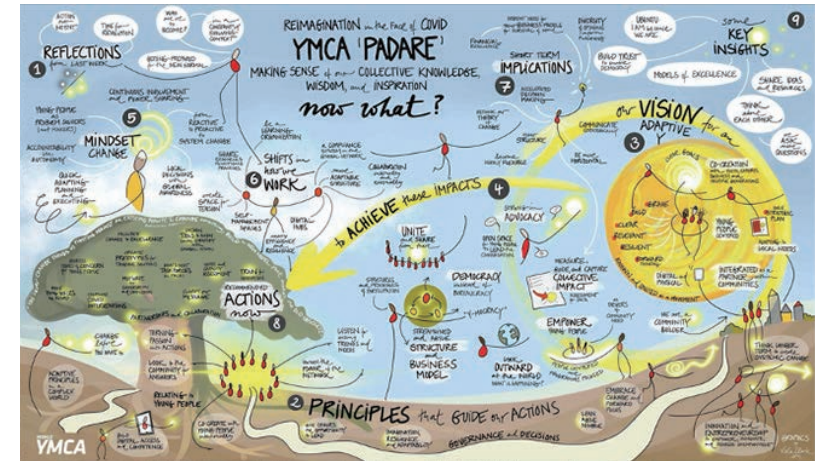
新型コロナウイルスの感染拡大により、世界的な慈善団体の存続が前例のない困難に直面していますが、世界YMCA同盟は、YMCA運動の将来の戦略的方向性を再考する、またとない機会と捉えています。YMCAの目標はレジリエンス(衝撃に耐えられる柔軟性や回復力)を高め、新型コロナウイルスを克服して、将来の世代にとって強く必要とされる存在であり続けることです。そのために、2021年に向けてYMCA運動の大胆な見直しが必要とされています。この見直しは、総主事とその地域の指導者による会合や世界YMCA同盟主催のリーダーズトークシリーズや、新型コロナウイルス対応ハブとアンケートなど、多くのグローバルな取り組みによって促進されました。これらはすべてオンラインで実施されています。

その結果、世界YMCA同盟は、将来の方向性のために「若者の生活」、「環境」、「メンタルヘルスと福祉」の3つの重点分野を特定しました。このうちの二つは、すでにYMCAユースリーダーサミットとして行動に移され、YMCAのユースが世界中で実行できる実践的かつ地域的な環境戦略として焦点が当てられています。また、ユースリーダーの国際的なチームがシンクタンクとして集められ、YMCAが若者の心の健康と福祉の向上にどのようにすれば最大の影響を与えることができるかにつ

いて、政策と行動を「見直す」ために結成されました。また、各国のYMCAの現状と将来の計画を支援するための「適応ハンドブック」も近日中に配信予定です。

現在の世界YMCAの取り組みの詳細については、<https://www.ymca.int/> をご覧ください。

コード読み取り



YMCAの適応性、財政的な持続可能性、若者に焦点を当てたPadaresラウンドテーブルの主要な内容を反映した視覚的な地図

## ボランティアスクエア活動報告 ～サポート体育～

土佐堀事業 スタッフ **ふじわら まなぶ**  
**藤原 学**

サポート体育クラスは、幼児(年長)から小学6年生までを対象にした、子どもたちが楽しみながら自分の能力を伸ばし、やる気と勇気、自信を育むためのプログラムです。子どもたち一人ひとりの個性を大切に、年間を通して心身の成長をサポートしています。プログラムではASE (Action Socialization Experience: 一人では解決不可能な課題に対して、チームで協力しながら解決していくアクティビティ)を取り入れることで、日常生活でも活かせるような力を育てています。

また、プログラムにはユースボランティアリーダーと呼ばれる学生ボランティアが参加しています。当日の運営だけでなく、内容の企画や提案、進行などにも関わっています。子どもたちと同じ目線になって、一緒に喜んだり、悩んだり、考えたりと、子どもたちだけでなくユースボランティアリーダー自身も成長できる場所となっています。そして、ここで指導に関わったユースボランティアリーダーたちは、近い将来、社会の担い手として活躍していきます。



## ご寄付に感謝いたします

● **ゴディバ** ジャパン株式会社様は、コロナ禍で困難な状況にある人に、ビスケットで笑顔を届けるプロジェクトを進めておられ、この度大阪YMCAにご寄付いただきました。

大阪YMCA国際専門学校ホテルビジネス学科長 **すずき**  
**鈴木 えみ**

国際専門学校語学・ビジネス専門課程では、「YMCAとボランティア」という授業の中で、視聴覚障がいの方の手引きボランティアグループ「クローバーの会」から講師の方をお招きして、ボランティア活動や地域支援について学んでいます。視聴覚障がいの方のサポート活動の中で、今回頂戴しました美味しいお菓子を活用させていただきました。「大切な人に幸せを広げる」ゴディバのお菓子のおかげで、ほっこりした癒しの時間が生まれました。



みやほらまなぶ  
YMCAサンホーム 施設長 **宮原 学**

かわいらしいパッケージに包まれたビスケットが私たちに届けられました。入浴やリハビリなどを周りの方々と楽しみながら過ごされている入居者、利用者の皆様も、袋からビスケットを取り出し、口に含めると、ビスケットと同じくらい甘い笑顔を私たちにいただきました。話をする表情に花が咲き、ともに楽しむ機会となりました。



● 一般財団法人日本宝くじ協会様から、集会テント3張と宿泊テント4張をご寄贈いただきました。大阪YMCAの4つの拠点で、日々のプログラムやイベントなど様々な活動の場で参加者が憩うことができるよう、有効に活用させていただいております。





## 減塩はなぜ必要？

たかせ かな  
YMCAあわぎ保育園 スタッフ 高瀬 佳奈

「日本人の食事摂取基準(2020年版)」で定められた塩分目標量は、1日あたり男性7.5g未満、女性6.5g未満です。これに対して、日本人の1日あたりの平均塩分摂取量は男性10.9g、女性9.3gです。(令和元年国民健康・栄養調査) このことから、日本人は食塩過剰摂取の傾向があるといえます。食塩の過剰摂取は、高血圧、腎機能の低下等、様々な病気のリスクを高めます。健康に長生きするために、少しでも減塩を意識してみませんか。

### 【減塩のポイント】

- ・加工食品を控える
- ・香りや風味をうまく利用する
- ・だしを効かせる
- ・調味料は「かける」よりも「つける」

YMCAあわぎ保育園では、薄味で素材の味が楽しめるような食事を心がけています。10月の「こひつじひろば」(子育てファミリー世代を対象とした支援活動)では、すまし汁の試飲と食事の相談コーナーを設けました。保育園の味、素材の味を感じてもらい、地域の方と食事のお話を通して交流する機会となりました。



## ユースリーダーの日の集い

### ■日時

2020年12月23日(水)

18:45~19:15 一部:礼拝

19:30~20:30 二部:研修会

### ■場所

大阪YMCA会館 2階ホール

### ■テーマ

「未来へ向けて広げよう! ポジティブな“わ”」

コロナ禍において、日々のユースリーダー同士の「つながり」の大切さやありがたさに改めて気付きました。実行委員会では、そのような「つながり」をさらに創りたい、大切にしたいと準備を進めています。今年度のユースリーダーの日の集いでは、そんな「つながり」について改めて考え、今後のリーダー活動の糧としていく機会とします。

## 大阪YMCA 『2021年度年間聖句・年間讃美歌』 公募のご案内

### ■応募締切

2021年 1月8日(金)

### ■応募方法

応募用紙に氏名、窓口YMCA、連絡先、応募の聖句・讃美歌の箇所・番号、選んだ理由など必要事項を明記の上、下記のメールアドレス、もしくはFAXまでご応募ください。

※応募用紙はホームページよりダウンロードするか、下記までお申し出ください。

<http://www.osakaymca.or.jp/>

### ■問合せ

大阪YMCA 統括本部

〒550-0001 大阪市西区土佐堀1-5-6

TEL:06-6441-0894 FAX:06-6445-0297

E-mail: [info@osakaymca.org](mailto:info@osakaymca.org)

## 大阪YMCA早天祈祷会

YMCAを愛する人びとによって共に祈る時(毎月第3金曜日予定)が持たれています。YMCAの様々な場で活動されている方々にお話をいただき、人生の歩みを分かちあう恵みの時としています。

■第328回 日 時...2020年12月18日(金) 7:30~8:15

奨 励...高橋 順さん たかほし じゅん ※朝食会はございません。

(日本キリスト教団大阪西野田教会 牧師)

場 所...大阪YMCA会館 10階 チャペル

問合せ...大阪YMCA 統括本部 総務

TEL:06-6441-0894

E-mail:[info@osakaymca.org](mailto:info@osakaymca.org)

## 会員・賛助会員としてのご協力に 感謝申し上げます。

2020年10月度報告・敬称略

### 【新規会員】

岩橋 麻菜美  
金沢 昇依  
岸 瑚満智  
外山 智貴  
安井 日菜

### 【継続会員】

稲垣 行洋  
清水 要  
新家 楓  
野間のぞみ  
野間田 佳奈  
浜野 慎也  
福本 航  
吉川 佐和子  
吉川 尚志  
吉田 清三  
吉村 周平

### 【継続賛助会員】

大阪ガス株式会社  
一般財団法人大阪クリスチャンセンター  
関西キンビパレッジサービス株式会社  
株式会社大丸松坂屋百貨店  
一般社団法人 The Honolulu Academy of Medicine  
レッキス工業株式会社

大阪YMCAのホームページで  
その他の情報をご覧ください。

